



vol.1 せーやさん降臨！号

STAFF: 笛吹高図書委員



みなさんこんにちは！
 今年度もまた「ふえどく」が
 始まりました！
 ふえどくは、
 みなさんと図書館を結びつける
 図書委員会作成の広報紙です。
 きらきらハイスペ司書（マジ天使！）
 の☆せーやさん☆といっしょに
 図書館を盛り上げるのに
 ふえどくが一役買えたらと
 思っています。
 よろしくお祈りします！

3-8 羽田竜人くん(図書委員長)のオススメ本

『何様』 朝井リョウ

私が好きな作家の一人である朝井リョウさんの小説『何者』のアナザーストーリー作品集。構成されている6編の中で私が一番好きな話は「水曜日の南階段はきれい」です。高校3年生の神谷光太郎とクラスメイトの女子、夕子との夢の交換の物語です。どうして私がこのような言い方をするのかは、是非この本を読んで確かめてほしいです。二人の夢への想いや心情の変化、神谷の夕子への言葉にできないモヤモヤした感情も読んでいて感情移入してしまいました。一つ一つの短編が人と人との出会いを描き、またその出会いによってどのように人の心が変わるのか、とても考えられます。これから夢を見つける人、夢を追いかける人に読んでほしい。



白澤一奈先生(英語・図書館主任)のオススメ本

『心を整える。勝利をたくり寄せるための56の習慣』

長谷部 誠

今月引退を発表した長谷部誠選手が10年以上前に書いた本になります。テーマは題名でもある心を「整える」です。忙しいときこそ、心を準備する時間が大切になる、というのは「今未来手帳」や「Classi」での取組にも通じますよね。

「勝利をたくり寄せるための56の習慣」というサブタイトルに、「56はさすがに多すぎ…」と感じ、今回はその中から特に印象的なものを1つ紹介します。

「運とは口説くもの」。一般的には、「運がいい」・「運が悪い」と言いますが、運を引き寄せるには自分から行動する、「運命の女神様」に自分を気にかけてもらうことが重要、という考えです。意識するからこそ見える世界があります。56もあれば、1つくらいはいいなあと思うものもあるはずです。たまには心を落ち着かせてみるのはどうでしょうか。

2-3 望月美弥サン(昨年度多読者1位)のオススメ本

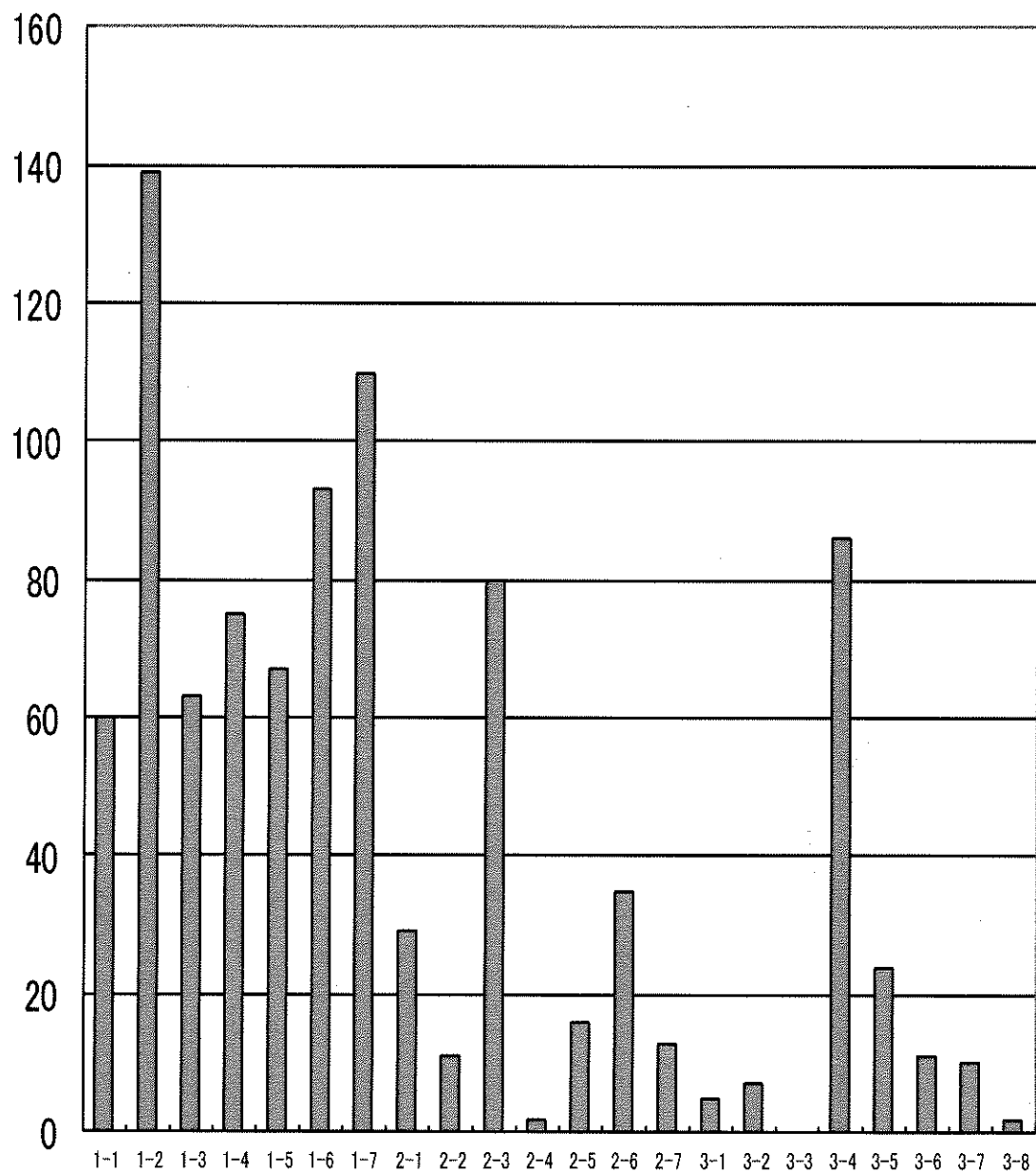
『銀の匙』(全15巻) 荒川 弘

自分がオススメする本は、『銀の匙』です。畜産のお話がメインで絵が見やすくサクサク読める所が好きです。個人的にオススメな回は、ピザ釜でピザを作る話と主人公・八軒がプタを飼う話です。この二つが後に八軒に大きな影響を与えていて好きです。というか、主人公はもともと家畜なんかと関わったことがなく、勉強だけ！って人。そんな人が色々な人や物事と関わって変わっていくのが読んで楽しい所です。作者さんは荒川弘先生、先生も北海道の人らしく、『百姓貴族』という作品もあって、そこでは先生自身の話が描かれています。自分は農業や食品が身近でがっつり命と関わることはなかったので、読んでとても新鮮でした。おもしろいので、ぜひ読んでください。





クラス別貸出冊数

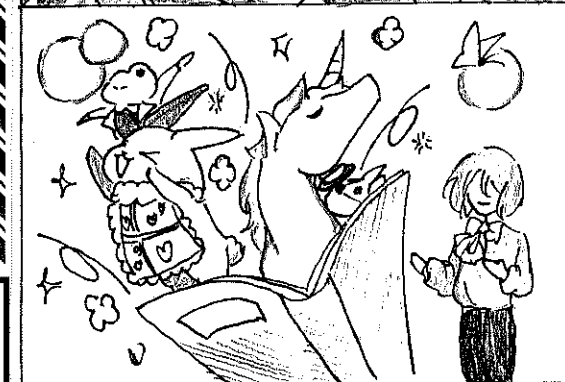
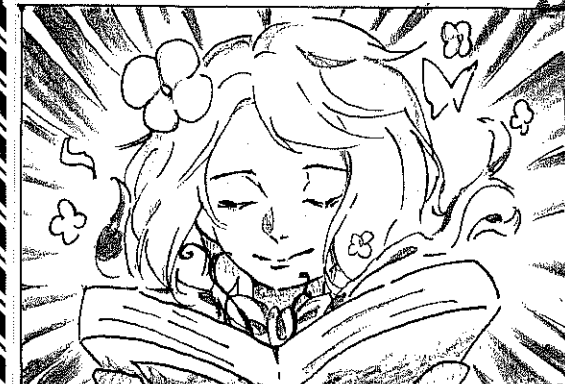


図書館利用統計

1年	607冊
2年	186冊
3年	145冊
職員	141冊

合計 1080冊
(4月)

...今年度も貸出
1万冊をめざします!



多読者ベスト10

1位	2-3	望月美弥	57冊
2位	1-2	佐藤凜空	33冊
3位	3-4	飯野愛輝	29冊
	1-2	岩間羅央	29冊
5位	3-4	石川 慧	26冊
6位	1-7	山口大空	24冊
7位	3-5	田畑華依 哉	20冊
8位	2-6	小鳥居友香	18冊
	1-7	保坂先人	18冊
10位	1-5	荻原直之	16冊

(4月)

...今年度もミヤさんが
不動の1位!

